

目次

はじめに	1
第1章 市場経済体制の深化と社会の変容	3
1. 第13回党大会で「社会主義初級段階論」を提起	3
2. 鄧小平氏の「南巡講話」が市場経済化を牽引	5
3. 非公有制経済の地位の明確化と私有財産権の保護	6
4. 変容する中国社会	7
第2章 重い課題を背負う胡錦濤政権	11
1. 中国社会が直面する主要な矛盾と問題	11
2. 鈍化する絶対貧困人口の減少	12
3. 急速に進む人口高齢化	13
4. 多くの国民が医療保険とは無縁	14
5. 歯止めのきかない行政経費の膨張	15
6. 都市における「農民工」（出稼ぎ農民）問題	16
7. 空前の就職難	17
8. 拡大する住民間の所得格差	18
9. 農民の耕地喪失と土地の違法使用	20
10. 公務員の規律弛緩と腐敗汚職	21
11. 経済発展と環境汚染	24
12. 特権階層と「特殊利益集団」問題	27
13. 多発する大衆による騒乱事件	30
第3章 「和諧社会」の構築を正式に党議決定	33
1. 党16期6中全会における「決定」の審議・採択	33
2. 第16回党大会の政治報告で初めて「和諧」を提起	33

第4章 「決定」から読む「和諧社会」の構築	37
1. 「和諧社会」の重要性と緊迫性	37
2. 指導思想、目標任務及び原則	38
3. 不均衡発展の解決と社会事業の強化	39
4. 制度整備による公平な社会の実現	41
5. 和諧文化によるモラル基盤の整備	42
6. 社会管理の強化と安定秩序の維持	43
7. 社会の活力と団結・和睦の増進	44
8. 党の指導性の強化	45
第5章 「決定」が目指す方向と今後の課題	47
1. 社会問題に関する初めての「綱領的文献」	47
2. 「決定」に見るキー・ワード	47
3. 今後の課題	48
資料編	
資料1. 中国共産党第16期中央委員会第6回全体会議コミュニケ（2006年10月11日中国共産党第16期中央委員会第6回全体会議採択）	53
資料2. 胡錦濤総書記の党16期6中全会第2回全体会議における重要講話（第一部分：2006年10月11日）：「社会主義和諧社会構築の各種工作を着実にやり遂げ、中国の特色ある社会主義の偉大な事業を前進させよう」	58
資料3. 2006年10月12日付人民日報社説：「社会主義和諧社会の構築のため奮闘努力しよう！」	64